

平成30年度 社会福祉法人 木曾社会福祉事業協会

事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

■目次

法人本部	2
木曾ねざめ学園	5
障害者支援施設 上松荘	8
グループホーム 麦の穂	18
相談支援事業所 りんくきそ	26
木曾障がい者総合支援センターともに	27
ワークステーション すてっぴ	37
こまくさワークセンター	43
木曾こどもセンター	50
ひのきちゃんハウス	54

法人本部

平成 30 年

4 月

2 日 法人始業式・法人職員交流会 於:ひのきの里総合文化センター
18 日 職員採用面接 於:上松荘

5 月

22 日 平成 29 年度決算監査 於:上松荘

6 月

1 日 大屋町長 来荘 第 1 回 お出かけ町長室 於:上松荘

4 日 理事会 於:上松荘

(1)議案第 1 号 定款細則(案)について

(2)議案第 2 号 平成 29 年度 事業報告の承認について

(3)議案第 3 号 平成 29 年度 収支決算の承認について

(4)議案第 4 号 平成 30 年度 第一次補正予算(案)について

(5)議案第 5 号 理事及び監事の推薦について

(6)報告事項 1 平成 30 年度 第 8GH一般競争入札参加資格について
2 中期計画(案)について
3 その他報告

20 日 評議員会 於:上松荘

(1)報告第 1 号 定款施行細則の制定について

(2)報告第 2 号 平成 29 年度 事業報告の承認について

(3)議案第 1 号 平成 29 年度 収支決算の承認について

(4)議案第 2 号 理事の選任について

(5)議案第 3 号 監事の選任について

(6)その他 中期計画(案)について

7 月

25 日 こどもセンター・ともに運営協議会 於:上松町公民館

9 月

30 日 新規採用職員面接 於:上松荘

10月

4日	新規採用職員面接	於:上松荘
5日	法人職員研修会(リスクマネジメント)	於:上松町公民館
12日	看護師採用面接	於:上松荘
	松本労働基準監督署立ち入り調査	於:上松荘、すてっぷ
22日	大桑村第8GH入札	於:上松荘
23日	理事会	於:上松荘
	(1)議案第6号	平成30年度 第8グループホーム新築工事 請負契約書の決議について
	(2)議案第7号	平成30年度 第2次 補正予算(案)について
	(3)議案第8号	給与規程の一部改正について
	(4)報告事項	1 理事長職務執行状況報告 2 木曾ねざめ学園移転改築に伴う協議状況等について 3 社会貢献事業に伴う展開について
25日	県指導監査	於:上松荘
29日	パート職員面接	於:託児所

11月

17日	職員新規採用試験	於:上松荘
-----	----------	-------

12月

6日	木曾広域連合 こどもセンター予算査定	於:木曾広域連合
7日	法人職員交流会	於:上松町公民館
17日	職員採用面接	於:上松荘

平成 31 年

1月

26日	職員採用面接	於:こまくさワークセンター
-----	--------	---------------

2月

26日	理事会	於:上松荘
	(1)議案第9号	経理規程の一部改正について
	(2)議案第10号	平成30年度 第3次 補正予算(案)について
	(3)議案第11号	木曾ねざめ学園 定員の変更について
	(4)報告事項	1 上松荘短期入所事業の運営規定変更について 2 こまくさワークセンターの運営規定変更について 3 理事長職務執行状況報告 4 木曾ねざめ学園移転改築に伴う協議状況等について 5 第8グループホーム新築工事の進捗状況

3月

-
- 2日 職員内部昇格試験 於:上松荘
- 26日 理事会 於:上松荘
- (1)議案第12号 平成30年度 第4次補正予算(案)について
 - (2)議案第13号 木曽ねざめ学園 定員の変更について
 - (3)議案第14号 共同生活援助 定員の変更について
 - (4)議案第15号 平成31年度 事業計画及び収支予算(案)について
 - (5)議案第16号 障がい者支援施設上松荘「施設長」の任命について
 - (6)報告事項
 - 1 理事長職務執行状況報告
 - 2 木曽ねざめ学園移転改築に伴う協議状況等について
 - 3 第8グループホーム新築工事の進捗状況
- 30日 被災地支援チャリティコンサート 於:ひのきの里総合文化C

◎ 月例開催

苦情解決第三者委員 来訪相談

ねざめ学園	6/16	10/20	
上松荘	5/18	8/24	11/22
こまくさワークC	7/20	3/22	
WS すてっぷ	9/19		
ひのきちゃんH	4/13	12/21	
こどもセンター	1/25		

(2/22の上松荘は感染症防止のため中止)

法人施設代表者会議

於:上松荘

4/3 5/2 6/4 7/3 8/1 9/3 10/2 10/31 12/3 1/7 1/31 3/1

◎ 随時開催

内部理事打ち合わせ会議

8/22 9/11

法人事務局防災会議

8/8

法人内事業所見学研修

8/21 11/21 2/22 (7/5は大雨のため中止)

①入所状況(定員 35 名)

平成 30 年度推移表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1日現在 在籍数 (名)	33	32	32	32	32	31	31	30	30	30	30	30	—
入所率 (%)	94.3	92.9	92.4	92.1	92.0	91.4	91.0	90.4	89.8	89.4	89.1	88.8	—
入所数 (月内・ 名)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
退所数 (月内・ 名)	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	2	6

②児童相談所一時保護委託数及び契約ショートステイ利用数

	期 間	人 数
一時保護委託	7/18~8/1	各1名
	10/11~10/15	
ショートステイ	2/23~3/1	上松町内より2名

③職員体制

全職員数・・・27名(常勤24名 パート2名 嘱託1名) 平成30年4月1日現在

4月1日、27名でスタートしましたが、4月30日で退職した職員がいました。更に、30年度末で一身上の都合により、退職を希望する職員が5名という結末を迎えました。中には8年から10年もの間、学園にご尽力いただいた貴重な人材も存在し、その影響力は大きく、残された入所児童・職員共に精神的にも肉体的にも不安定な年度末を迎えました。平成31年度採用職員については、2名の正規職員(保育士)と1名の臨時職員(指導員)の3名を確保することができました。

④園内行事等実施状況

4月	担当班毎のお楽しみ会	11月	秋の奉仕活動 七五三 バス旅行 (東京ディズニーランド)
5月	春の奉仕活動 大型連休お楽しみ会 水難事故現場お参り		
6月	開園記念日		
7月	班活動	12月	餅つき(関西電力労組ボランティア) クリスマス会
8月	夏休み在園児童お楽しみ会 キャンプ		
9月	諏訪神社例大祭参加	1月	冬休み在園児童お楽しみ会
10月	班活動	2月	班活動
		3月	卒園式

⑤平成 30 年度 保育士養成所協議会からの実習養成校及び保育士採用実績

学校名	所在地	実習	31年度採用数	採用実績(在籍職員)
飯田女子短期大学	飯田市	○	1	5
松本短期大学	松本市	○	0	6
信州豊南短期大学	辰野町	○	1	1
清泉女学院短期大学	長野市	○	0	0
長野県福祉大学校	諏訪市	○	0	0
山梨学院短期大学	山梨県	○	0	0
岡崎女子短期大学	愛知県	×	0	1

⑥ボランティア

4~11月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児対応ボランティア
11月	郵便局清掃ボランティア	施設内の清掃ボランティア
	ダスキンレディ清掃ボランティア	施設内窓ガラスの清掃ボランティア
12月	竹村工業株式会社	リンゴ狩り招待・昼食(1日里親)
	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児対応ボランティア
	関西電力労働組合木曾川支部	餅つきボランティア
1月	上松町更生保護女性会	職員会時の幼児対応ボランティア
2月		

⑦高額寄附

10月17日 大桑村在住匿名希望の方より、学園の建設費用にといただきました。

⑧地区行事への参加

- ◇倉本地区観音様行事参加 ◇立町地区お花見参加 ◇立町地区作業参加
◇神明神社例大祭参加 ◇地区どんど焼き・お楽しみ会参加

⑨関係機関との連携について

入所児童一人ひとりが抱える課題が多様化する中で、施設の在り方、関係機関との連携が必要不可欠となっています。支援会議、連絡会、懇談会を通して情報交換を実施し、個々の子どもたちの育ちの環境や、安心・安全な環境整備、家庭調整に至るまでを含め、職務を遂行しています。下記は代表的な連携・連絡会議です。

管轄児童相談所ケース検討会	園内
県・児童相談所・施設長連絡会議	長野市
上松中学校との連絡会	町内
上松小学校との連絡会	町内
松本児童相談所管内施設連絡会(隔月)	松本市
上松町子育て支援会議	町内
長野県児童福祉施設連盟支援職員部会	県内
長野県児童福祉施設連盟心理部会	県内

⑩施設備品の整備について

国道側駐車場防犯灯設置工事

不審者情報による、木曾警察署からの指導もあり、設置。

費用:199,800円 設置業者:総合警備保障株式会社

(平成30年度施設機能強化推進費事業)

⑪職員研修関係

(法人・学園企画)

研修名	派遣	対象
普通救命講習Ⅰ	外部講師	職員全員
発達障害について	内部講師	
福祉サービスにおけるリスクマネジメント	外部講師	法人企画
インターネットの正しい利用について	外部講師	職員 中学生・高校生

(全国児童養護施設協議会等企画)

研修名	場所	対象	備考
全国児童養護施設 中堅職員研修会	東京都	職員1名参加	
関東ブロック児童養護施設 職員研修会	神奈川県	職員2名参加	
上松町内教育関係者研修会	町内	職員5名参加	
長野県児童福祉施設連盟 新任職員研修会	千曲市	新任職員参加	

<はじめに>

30年度は、利用者の高齢化への対応として日課や支援内容の見直しをしてきました。また、7月には豪雨のため利用者全員避難するという事態があり、検証会議を3回開催してきました。次年度、検証の結果をまとめて有事の際に活かしたいと思います。

設備・改修は、利用者が多く集まる東棟廊下のエアコンを設置しました。これにより施設内の必要と思われる場所全てに設置しました。厨房内が猛暑により既存のエアコンだけでは対応できなくなり1台増設しました。また、厨房設備として不可欠なコンベクションオープンを入れ替えています。

1.利用者の状況(※施設入所支援 定員40名 利用者42名)

利用者の平均年齢は57歳を超え高齢化が進んでいます。複数の障がいを合わせて持っている方が多くいます。

1) 利用に係る主障がい

障がい名	知的障がい	身体障がい	精神障がい	計
人 数	38	3	1	42

2) 障害者手帳所有状況

療育手帳	A1	A2	B1	B2	計
人 数	29	2	7	0	38

身体障害者手帳	1種	1種	1種	2種	2種	2種	計
	1級	2級	3級	3級	5級	6級	
人 数	4	6	1	1	1	1	15

精神障害者手帳	1級	2級	3級	計
人 数	2	0	0	2

3) 年齢別・障害支援区分人員

年齢	～20 未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	2	2	3	1	8
区分6	0	1	1	11	7	5	9	34
計	0	1	1	13	9	8	10	42

4) 男女利用者状況(最高齢84歳 名、最年少29歳)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	計
男	0	1	1	9	4	4	4	23
女	0	0	0	4	5	4	6	19
合計	0	1	1	13	9	8	10	42

2. 職員配置及び委員会の取り組み、各種研修会の開催・参加状況

1) 職員の配置

職種	施設長	管理責任者 サービス	支援員	看護婦	療法士 理学	栄養士 管理	事務員	嘱託医	合計
人数	1	1	26	2	1	1	2	(1)	34 (35)

2) 各種委員会の実施状況

利用者の権利擁護・安全・健康管理、質の高いサービス提供のために委員会を開催しました。

委員会名	実施回数	内容
虐待防止委員会	12回	虐待防止チェックリストの検証、振り返りノート の検討とまとめ
事故防止委員会	12回	事故報告書・ヒヤリハットの検証と対策、検証 後の再確認等
感染予防委員会	3回 発生時随時 対応会議開催	感染症予防対策講習会の実施、感染症発生時 の対策と検証
サービス向上委員会	3回	苦情解決相談(年3回)内容の検討、アンケート 調査の課題の検討、投書箱内容検討
広報委員会	随時	機関誌の編集、原稿依頼、印刷会社との打ち 合わせ、機関誌 56,57 号の発行、発送手続き
身体拘束検討委員会	2回	身体拘束を含む特別支援についての検討、記 録様式等の検討、利用者状況の報告と検討

3) 職員研修会実施及び外部研修参加状況

利用者の多様化に伴い、職員の専門性・資質向上のために研修会を開催・受講しました。

職場内研修会の開催		講師
内容	4/24 救急救命法	外部
	6/1 自閉症・強度行動障がい研修	外部
	6/19 歯磨き・介助歯磨きのポイント	外部
	7/25 障がい者の自己決定支援研修	外部
	10/5 法人研修リスクマネジメント	外部
	11/1 感染症予防と対策	外部
	11/9 感染症対応研修	内部
	1/7,22 2/1 障がい者虐待防止法伝達研修	内部
職場外研修の参加状況		
内容	他施設(梓荘)研修、抗精神薬の副作用、糖尿病患者におけるフットケア、高齢者の食事、強度行動 障害、中堅職員研修、感染症・食中毒防止、リスクマネジメント、災害への備え、障害者虐待防止、認 知症高齢者の食支援、発達障がい、ストレングス視点での支援、介護リフト活用セミナー等	

3. サービスの提供内容（生活介護・施設入所支援）

利用者個々の状態やニーズ添って、主体性を重視し健康的で豊かな生活が送れるように支援してきました。

1) 日中活動（月～金曜日）

生きがいのある生活が送れるように、希望を伺いひとりひとりに合った日中活動を提供してきました。

グループ名	内 容	利用者実人員	
たんぼぼ	・カレンダー作り ・行事の飾り作り	15名	
ひまわり	・ちり紙たたみ ・エプロンたたみ ・ペットボトル、空き缶片付け	16名	
コスモス	・キャップさし ・パソコン 等	AM	10名
		PM	5名

2) 生活・余暇支援

①<カルチャー教室>

ボランティアの講師の先生にご指導いただきました。また、作品の展示や発表の場を作ってきました。

教室名	開催日	参加利用者数
音楽教室	毎月第1土曜日	自由参加
茶道教室	毎月第2土曜日	4名 GH: 1名
華道教室	毎月第4土曜日	5名 GH: 2名

②<外出支援>

利用者の皆さんの一番多い希望は「外出」です。生活の張り合いになるように多くの外出を行ってきました。

◎外出:買い物、食事等、利用者の希望を伺いながら行いました。

	回数	参加人数		回数	参加人数
4月	6	10名	10月	8	12名
5月	13	20名	11月	9	10名
6月	15	26名	12月	8	11名
7月	11	18名	1月	5	7名
8月	5	8名	2月	2	2名
9月	13	21名	3月	14	20名
合 計		109回			157名

主な外出先:郡内町村、塩尻市、松本市、伊那市等

③<行 事>

季節を感じ、張り合いのある生活が送れるように行事等を行ってきました。

月	日	内 容 (※ 家族会行事)
4	17 22	お花見(行事食、お花見ドライブ) ※家族会総会
5	7 11 20 23	端午の節句:のど自慢大会、行事食 グループ旅行①:松本空港見学、ボーリング、バイキング ※家族会環境整備 グループ旅行②:みはらしファーム いちご狩り
6	6 9 26	グループ外出③:カラオケと食事(松本市) 木曽郡ふれあいスポーツ交流会(大桑村スポーツ公園) グループ旅行④:伊那ココス、高遠城下町・バラ園散策
7	15	荻原地区祭礼 来荘し神楽と獅子舞を披露 祭礼外出(薮原、福島、上松)
8	7 22	七夕夏祭り グループ外出⑥:チロルの森(塩尻市)
9	6 9 20 24 26	グループ外出⑦:岐阜県恵那市「銀の森」 長野県障がい者スポーツ大会(松本市) 敬老の会:お話の会による読み聞かせ等 ※家族会環境整備 グループ外出⑧:双葉サービスエリアを目指すドライブ
10	2 20 26	グループ外出⑨:みはらしファーム ぶどう狩り 第36回朋友祭 総勢113名 グループ旅行⑩:妻籠宿散策、木曽路ホテル(バイキング)
11	10 29	クッキング月間 お好み焼き 家族会と職員の親睦会(ねざめホテル) 長野県知的障がい福祉大会(佐久市)
12	21	クリスマス会(行事食)
1	15	新年会(行事食)、どんど焼き
2	6	節分(行事食)
3	5 14 19	ひな祭り: お話の会めっきらもっきら、行事食 グループ旅行⑤:世界淡水魚水族館アクア・とと岐阜 グループ外出⑪:みはらしファーム いちご狩り

4. 健康管理

◎障がい特性による心身の健康管理の他、高齢化への対応や集団生活における感染症の予防と対策に努めてきました。

1) 各種検査、予防接種等

・胸部レントゲン検査	10月23日	・心電図、眼科健診	10月23日
・インフルエンザ予防接種	11月5日	・血液検査	9月27日
・歯科検診(松本歯科大による定期健診)	12月4日	・健診、医務相談	必要に応じて随時実施
		・集中口腔ケア	毎月2回

2) 特別な医療を要する利用者

・留置カテーテル	3名	・自己導尿	1名
・膀胱ろう (留置カテーテルと兼ねる)	1名	・胃ろう	1名
		・じょくそうの処置	3名

3) 医療機関への通院(ひとりひとりの状態にあった医療機関を利用しました)

・木曽病院、信濃医療福祉センター、大脇医院等

4) 入院の状況

医療機関	入院期間	
木曽病院	H30	4/12～4/25
伊那中央病院	H30	6/21～6/30
木曽病院	H30	7/2～7/19
〃	H30	7/15～8/27
〃	H30	11/9～12/27
〃	H31	1/9～1/19
合計	延べ6名	

5) 嘱託医

毎月第三水曜日に嘱託医の金松先生に来荘していただいて、利用者との面接や職員への助言をしていただきました。

6) 歯科診療

毎月2回、松本歯科大の先生に来荘していただいて歯科診療を受けました。

7) リハビリ訓練実施状況

身体に障がいがあったり、加齢によって機能低下がみられる利用者の皆さんに対して、専任の理学療法士がリハビリ訓練を行いました。

8) 職員のメンタルケア:臨床心理士によるカウンセリング

職員の状況や希望を受けて、悩みやストレスを専門的にカウンセリングで相談できるようにしました。

実施月	5月	合計
回数	2	2回
延人数	6	6名

5、食事支援と栄養管理

利用者の皆さんに食事を美味しく食べていただくために味や見た目だけでなく健康状態や障がいの特性に配慮した食事支援を全職員が統一して行えるよう努めてきました。

○栄養ケア・マネジメントの実施

*入所利用者全員の健康状態や体重変化、食事摂取状況を把握し個人個人の食事支援計画を作成。3ヶ月に1回見直しを行ってきました。

*利用者一人一人の健康状態や障がいに配慮した食事の提供を行っています。(食事量、刻み食、おかゆ食、特殊食器の使用、食事環境、食事時間をずらす等)

*ご本人、ご家族との面談をし、情報の提供と交換を行いました。

○行事食、選択食の提供

*季節に合った行事食の提供とパンとご飯の選択(月2回)を行ってきました。

月	行事及び内容	月	内 容
4	始業式、お花見会	10	朋友祭
5	端午の節句	11	選択食
6	季節食(ほうば寿司)	12	クリスマス会、大晦日
7	夏の冷やし麺等の選択食 土用の丑の日	1	元旦、新年会
8	七夕会	2	節分、バレンタイン
9	敬老会	3	ひな祭り

6. 苦情受付等の内容と件数

1)利用者さんにご家族からの苦情を受け付けました。

苦 情 内 容	件 数
利用者への苦情	0件
職員への苦情	1件
活動に関しての苦情	0件
その他(旅行、帰省、余暇)	0件
合 計	0件
人権侵害に係る件	0件

2)第三者委員に利用者の苦情相談を行けていただきました。

◎実 施 日:5/18、8/24、11/22 2月は中止

◎相談内容:家族のこと、友達のこと、外出に行って楽しかったこと、施設の建物や公用車について、職員への苦情等

7. 事故報告・ヒヤリハットについて

事故報告・ヒヤリハットは、事故防止委員会で毎月検証し会議で確認してきました。

30年度は、骨折2件が発生しました。職員の業務内容や動き等を検証し再発防止に努めてきました。ヒヤリハットは、事故に繋がると思われるもの全てを報告しています。

月	事 故 内 容											計	ヒヤリハット件数
	骨折	打撲	切傷擦傷	異食	誤嚥	その他	誤薬	忘薬	落薬	重大事故	無断外出		
4		3	2			1	1	1	1		2	11	8
5		2									3	5	11
6		2	2	1	1				2		5	13	8
7	1	2	5			2			2			12	
8		1	3			1			1		3	9	
9		2	6			5			1		4	18	3
10			1									1	
11		1	1								2	4	16
12		3	1	1		1		1			4	11	6
1		2	3								1	6	12
2	1	1	2			1			1			6	13
3		1	2				1				1	5	13
計	2	20	28	2	1	11	2	2	8	0	25	101	90

8. 避難訓練・防犯訓練の取り組み

火災が起きないように日々の点検と、万一の災害に対して人命を優先した利用者を含む避難訓練を行い、外部侵入者を想定した防犯訓練も行いました。

実施日	実施内容
5月1日	夜間火災想定とした避難誘導訓練、通報訓練 初期消火訓練、町消防団参加
8月1日	外部侵入者から利用者・職員を守るために木曾警察署員を講師として防犯訓練を開催しました。
9月3日	日中土砂災害を想定した避難誘導訓練 (第2避難所へ公用車にて移動)、消火訓練
11月9日	夜間火災想定とした避難誘導訓練、通報訓練、町消防団参加
3月13日	日中火災想定とした避難誘導訓練、 消火器・消火栓の取り扱い訓練

9. 木曽圏域の障害福祉の拠点として

上松荘が地域の社会資源のひとつとして存在することを認識し、短期入所事業等、在宅で生活している方にも必要なサービスを提供してきました。また、地域の皆さんがボランティアを通して利用者と交流する場を設けてきました。

1) 短期入所利用者数（定員6名、2/1より定員5名）

利用者数が少なくなってきました。他のサービス利用等からと思われます。

大人の利用者延人数	子どもの利用者延人数	延べ人数合計	1日当たり
616名	0名	616名	1.6名

2) ボランティアの受け入れ

利用者の皆さんと地域の方との交流を図りながら障がいに対する理解を深めてもらうために、施設の行事や取り組みへの参加協力を呼び掛けてきました。多くの皆さんにご協力いただきました。

年間受入回数	年間延人員	ボランティアの内容
26回	94名	環境整備、カルチャー教室講師、朋友祭露店、清掃等

3) 実習受け入れ

施設や障がいの理解、後継者の育成のために施設実習の受け入れを行ってきました。

○保育士養成のための施設実習の受け入れ

学 校 名	人 数	受け入れ期間
長野県短期大学	2名	H30 6/4～6/15
上田女子短期大学	2名	H30 7/30～8/10
松本短期大学	1名	H30 8/20～8/31
	2名	H31 2/12～2/23
清泉女学院短期大学	2名	H31 2/25～3/8
飯田女子短期大学	1名	H31 3/11～3/22

10. 社会貢献

町村等の要望を受けて理学療法士を派遣し、地域の皆さんにご利用して頂きました。

派遣場所	訪問回数	延人員	実施内容
・王滝村 ペアレントトレーニング	2回	5名	・運動発達のチェック ・母親への助言 ・スタッフカンファレンス
・上松町 5歳児相談	2回	24名	・集団検査 個別検査 (遊び、リズム、ルールのある内容)・
・王滝村 5歳児相談	1回	1名	・スタッフカンファレンス ・親への結果の返し
・上松町 遊びの教室	1回	24名	未就児とその親を対象に、子供の得意な面の伸ばし方、苦手部分への関わり方、運動発達を遊びを通じて促す
・南木曾町 遊びの教室	8回	48名	
・上松町 保育園巡回	1回	1名	5歳児相談で巡回相談フォローになった方に対して
・大桑村 ペアレントプログラム	4回	10名	ペアトレ前段階的な取り組みとして今年度より実施
・大桑村 運動遊び	1回	30名	親子のふれあい遊び。遊びを通しての体力作り等
・木曾こどもセンター	8回	32名	保護者支援としてペアレントトレーニングの実施、利用児への関わり、スタッフカンファレンス
・ひのきちゃんハウス	2回	10名	利用者さんの身体機能評価・助言等
計	30回	185名	

11. 大雨・洪水警報による避難の状況

豪雨により木曾川流域のダムから水を出すことになり、木曾川の水量が過去に例のないものになるため上松町からの指示を受けて利用者全員が避難しました。

- ・避難日時 平成30年7月5日(木)23:30 ~ 7月6日(金)8:10
- ・避難場所 上松町交流施設「おぎ」 ※旧荻原小学校跡地
- ・避難状況 移動手段 公用車
利用者 41名 短期入所 1名 職員21名
グループホーム利用者 2名、職員2名 総勢 67名
※怪我、体調不良等健康面を害する人はいなかった。

グループホーム 麦の穂

30年度は第8グループホームの建設を進め、平成31年3月14日完成しました。

大桑村須原宿に合うような建物を目指し、住民の方からの希望でコミュニティルームとして利用できる部屋を併設して、住民の方との交流も考えています。

定員は6名 ショートステイ1床で運営していきます。ショートステイは地域生活拠点事業の体験、緊急時に対応できるように考えています。

30年度看護師を2名配置し健康面について今まで以上に気を付けながら支援してきました。通院等の支援も充実し今までのバイタルチェック等も見直してきました。

高齢化が進む中、またしっかりと自分の状態を伝えることができない方も多いため専門的に支援してもらえ世話人等も安心して支援できるようになりました。

1、食事支援

- ・栄養バランス、体調に合わせた食事の提供。
- ・法人内管理栄養士の助言でメニュー作成。
- ・刻み食等の配慮。
- ・とろみの必要な方への支援。
- ・糖尿病等に配慮して食事を提供。

2、住環境への支援

- ・居室の清掃、片づけを定期的にご本人と実施。
- ・衣替え等の衣類整理の支援。

3、健康面

看護師2名体制となり、より健康面の支援を充実しました。

- ・毎日の健康チェック実施
- ・定期的な通院支援。
- ・予防接種実施。
- ・健康診断
(30歳以上の方希望者)36名実施

4、余暇支援

- ・長期休暇の余暇支援として外出を実施。
- ・各事業所の行事への参加の促し。
- ・野球観戦・音楽鑑賞等を取り入れた支援の実施。

グループホームの現状

1、障害種別(主障害)

	定員	知的障害	精神障害	発達障害
計	40	35	3	1

2、障害支援区分

ホーム名	性別	定員	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
松の木寮	男性	7	0	0	1	2	2	1
ささゆり荘	女性	5	0	0	0	1	2	2
こぶし荘	男性	5	1	0	0	1	2	1
れんげ荘	女性	6	0	0	1	4	0	1
やまぶき荘	男性	3	0	0	2	1	0	0
	女性	3	0	0	1	0	1	1
うらしま	男性	6	0	2	2	2	0	0
すみよし	男性	2	0	2	0	0	0	0
	女性	3	0	1	1	1	0	0
計		40	1	5	8	13	7	6

3、年齢別（平均年齢 52才）

ホーム名	性別	定員	20代	30代	40代	50代	60代	70代
松の木寮	男性	7	0	0	0	5	0	2
ささゆり荘	女性	5	0	0	0	1	0	4
こぶし荘	男性	5	0	2	0	1	1	1
れんげ荘	女性	6	1	0	3	2	0	0
やまぶき荘	男性	3	0	1	0	0	2	0
〃	女性	3	1	0	1	1	0	0
うらしま	男性	6	1	1	1	1	2	0
すみよし	男性	2	2	0	0	0	0	0
〃	女性	3	0	0	0	3	0	0
計		40	5	4	5	14	5	7

4、出身町村

ホーム名	性別	定員	木曾町	上松町	南木曾町	王滝村	大桑村	木祖村	その他
松の木寮	男性	7	3	1	0	0	1	0	1
ささゆり荘	女性	5	0	1	1	0	1	0	2
こぶし荘	男性	5	2	0	1	0	2	0	0
れんげ荘	女性	6	0	1	0	0	2	0	3
やまぶき荘	男性	3	1	0	0	0	0	1	1
〃	女性	3	3	0	0	0	0	0	0
うらしま	男性	6	1	4	0	0	1	0	0
すみよし	男性	2	0	0	2	0	0	0	0
〃	女性	3	0	0	2	0	1	0	0
計		40	10	7	6	0	8	1	8

5、日中活動の場（重複利用）

ホーム名	定員	就労継続A型	就労継続B型	生活介護	地域活動センター	介護施設	一般就労	自立訓練生活訓練	日中一時支援
松の木寮	7	0	5	1	0	0	0	0	0
ささゆり荘	5	0	1	4	0	2	0	0	2
こぶし荘	5	0	3	2	0	0	1	0	2
れんげ荘	6	1	5	0	0	0	0	0	0
やまぶき荘	6	0	3	2	1	0	0	0	1
うらしま	6	0	5	0	0	0	0	1	0
すみよし	5	1	3	0	3	0	0	0	0
計	40	2	26	9	4	3	1	1	5

6、職員体制

職員	職種	専任・兼務	備考
女性	施設長	専任	
女性	サービス管理責任者	専任	
女性	サービス管理責任者	専任	
女性	世話人(ささゆり荘)	専任	嘱託
女性	世話人(松の木寮)	専任	嘱託
女性	世話人(れんげ荘)	専任	嘱託
女性	世話人(こぶし荘)	専任	嘱託
女性	世話人(やまぶき荘)	専任	嘱託
女性	世話人(うらしま)	専任	嘱託
女性	世話人(すみよし)	専任	嘱託
男性	生活支援員	専任	
男性	生活支援員	専任	
女性	生活支援員	専任	パート9名 シルバー人材センター4名
男性	宿直専門員	専任	パート1名

7、通院実績

	内科	精神科	皮膚科	整形外科	眼科	その他	入院	検診	歯科
木曽病院	120	148	26	17	38	55	65	30	
大脇医院	19								
芦沢医院	13								
予防接種	39								
高田整骨医院				1					
スマイル									83
古根医院	4								
その他								6	

8、活動、行事

4月

14日 28日 カルチャー参加
20日 レッツ参加
29日 三徳様祭礼参加

5月

4日 GW 昼食会
9~15日 GW 外出(伊那・松本・中津川)
19日 五社様祭礼参加
28日 とともに交流会参加

6月

9日 木曽郡ふれあいスポーツ大会
(大桑村)
20日 伊那市外出
30日 野球観戦(名古屋市)

7月

13日 蕨原祭礼外出
14日 南木曽町祭礼
22・23日 木曽町水無神社祭礼参加
28日 ひのきの里の夏祭り参加

8月

5日 伊那養護学校同窓会
13日 お盆昼食会

9月

9日 障がい者スポーツ大会(松本市)
9日 上松祭礼参加

10月

13日 在宅者交流会参加
3日 水害を想定した避難訓練
8日 上松町町民運動会
13日 相撲観戦(長野市)

11月

1日 上松町希望の旅
3日 ひのきの里秋祭り参加
9日 外出
20・25日 外出

12月

9日 在宅者交流会 クリスマス会

9、職員会議 研修等

4月

2日 法人始業式
3日 代表者会議
6日 職員会議
19日 県)人材育成部会
23日 南木曾町地域ケア会議
24日 知障協代表者会議
上松荘研修会参加

5月

2日 代表者会議
4日 世話人会議
8日 相談支援連絡会 権利擁護部会
10日 生活支援部会
28日 南木曾町地域ケア会議
31日 県)人材育成部会

6月

1日 世話人会議 上松荘研修参加
4日 法人理事会
9日 手をつなぐ育成会総会
13日 相談支援専門員連絡会
19日 自立支援協議会運営委員会
重心コンダクターチーム
20日 法人評議員会
22日 南木曾町地域ケア会議
27日 権利擁護部会
27日 地域生活支援拠点事業連絡会
28日 サビ管等連絡会

7月

3日 代表者会議
5日 生活支援部会
6日 世話人会議
12日 相談支援専門員連絡会
18日 県)人材育成部会
25日 上松荘研修会
28日 サビ管等連絡会
31日 南木曾町地域ケア会議

8月

1日 代表者会議
3日 世話人会議
8日 生活支援部会
22日 地域生活支援拠点事業連絡会
中信地区世話人会議
23日 相談支援専門員連絡会
24日 県)人材育成部会
28日 サビ管等連絡会
31日 南木曾町地域ケア会議

9月

1日	代表者会議 重心コンダクターチーム	14日	大桑村 GH 建築予定地 現地確認
4日	世話人会議	20・21日	相談支援従事者初任者研修
11日	法人理事会	26日	サビ管等連絡会 相談支援専門員連絡会
13日	生活支援部会	28日	木祖村藪原7区役員会参加

10月

2日	代表者会議	22日	大桑村 GH 入札 南木曽町地域ケア会議
3日	世話人会議	23日	法人理事会 相談支援専門員連絡会
5日	法人研修会	29日	サビ管等連絡会
9日	地域生活支援拠点事業連絡会	30日	自立支援協議会運営協議会
10日	生活支援部会	31日	代表者会議
15日	県)人材育成部会		
17日	木曽地域世話人連絡会		

11月

1日	感染予防研修会	16日	南木曽町地域ケア会議
5日	自立支援協議会フォーラム	20日	特別支援教育連携協議会
6日	世話人会議	21日	自立支援協議会全体会 さくら家工程会議
13日	常勤理事会	27日	サビ管等連絡会
15日	自立支援協議会調整会議	29日	さくら家工程会議

12月

3日	代表者会議 世話人会議	12日	重心コンダクターチーム
4日	生活支援部会 当事者部会合同部会	13日	精神保健福祉従事者研修
5・11・20・27日	さくら家工程会議	14日	南木曽町地域ケア会議
7日	法人職員交流会	19日	相談支援専門員連絡会
		20日	権利擁護部会

1月

4日	世話人会議 上松町新年顔合わせ会	17日	自立支援協議会調整会議
7日	代表者会議	22日	相談支援専門員連絡会
8日	県)GH 連絡会	29日	サビ管会議
9・16・23日	さくら家工程会議	31日	代表者会議 常勤理事会

2月

- | | | | |
|--------|-------------------|-----|------------|
| 5日 | 世話人会議
さくら家工程会議 | 18日 | 知障協代表者会議 |
| 6・7日 | サビ管研修 | 20日 | 成年後見セミナー |
| 13・21日 | さくら家工程会議 | 22日 | 相談支援専門員連絡会 |
| 14日 | 権利擁護部会 | 26日 | 法人理事会 |
| 15日 | 南木曽町地域ケア会議 | 27日 | サビ管等連絡会 |

3月

- | | | | |
|----|----------------------------|--------|----------------------|
| 1日 | 代表者会 世話人会議 | 12日 | 生活支援部会
相談支援専門員連絡会 |
| 4日 | 県)人材育成部会
重度心身障がい者コンダクター | 15・19日 | さくら家工程会議 |
| 6日 | 精神封建福祉研修会
木曽圏域世話人連絡会 | 20日 | さくら家法人検査 |
| | | 24日 | 木祖村藪原7区住民説明会 |
| | | 26日 | 法人理事会 |

短期入所事業報告

それぞれのニーズに合わせた受け入れを行っている。精神障害の方の利用が多い。定期的に使われる方も多く、今後の GH 入居の準備として利用される方もいる。親亡き後を考え、いざというときのための準備として利用される方もいる。

1、短期入所者利用実績

月	利用日数	男性	女性	精神	知的	身体	発達
4	10		4	3	1		
5	8		2	2			
6	8		2	1	1		
7	11		4	2	1	1	
8	9	1	3	3	1		
9	2		1		1		
10	2		1		1		
11	4		2	1	1		
12	2		1	1			
1	2		1		1		
2	5		2	1		1	
3	0						
計	63	1	23	14	8	2	

相談支援事業所 りんくきそ

30年度は中途より相談支援専門員1名体制となってしまう、新規の計画を受けていくことが困難になっています。

今後専門員は専任で配置できるように検討していきたいと考えています。

1、サービス等利用計画実績

総件数	H30 新規件数	モニタリング件数	備考
97 件	3 件	96 件	

2、障害児支援利用計画実績

総件数	H30 新規件数	モニタリング件数	備考
13 件	10 件	22 件	こどもセンター利用 利用児童

木曽障がい者総合支援センターともに

ともに、「だれもが自分らしく木曽で安心して暮らしていくために、ともに考え、ともに歩むセンターにします」を運営方針に、障がいのある方及びご家族からの様々な相談を受け、関係機関と連携しながら支援を行っています。

精神障がいのある方に対しては、退院後の地域定着支援や、引きこもりがちで福祉サービスまでつながらない方たちの居場所づくり、合わせて家族が交流できる機会づくりを継続してきました。

また、国・県の委託を受けて事業の専門職が、当事者支援や支援関係者の資質向上のための各種研修会等を企画してきました。

県の発達障がい支援強化施策により、平成27年度から当センターに配置された発達障がいサポート・マネージャーは、教育現場を始めとする諸機関の連携強化に努めており、そのための具体策として、「木曽郡発達支援センター」設立に向けた中心的役割を担いました。

就労支援については、受け入れ先企業が限られており、一般就労は厳しい状況ではありませんが、圏域内外の福祉関係事業所、企業関係団体、医療機関などとの連携強化・開拓更に、企業向けの研修会の開催等により、新規の就労希望者や、受け入れ先も増えており、一定の就労件数を維持しています。

平成30年4月より各町村からの委託を受け開始している、木曽圏域地域生活支援拠点等事業(人件費換算 0.5 人)、精神障がい者地域移行支援事業(人件費換算 0.5 人)は具体的な取組の為、ワーキンググループ、連絡会を開催し地域の体制づくりや目的及び活動計画策定に向け調整と準備を進めました。

木曽圏域自立支援協議会事務局として、地域の課題についての協議や関係者の連携体制づくりを推進しています。30年度は自立支援協議会調整会議に「地域生活支援拠点等連絡会」を設置し、相談支援機能強化に向けた地域の体制づくり、緊急受入れや体験の場・機会の提供、専門の人材の確保・養成等について、検討を重ねました。

また、自立支援協議会活動周知に向け、「協議会だより」を年4回発行(回覧:郡内全戸配布)しました。

1 職員体制

○センター長 兼務 障がい児コーディネーター	1名
○療育コーディネーター	1名
○主任就業支援ワーカー	1名
○就業支援ワーカー	1名
○生活支援ワーカー	1名
○精神障がい者生活支援コーディネーター(相談支援専門員)	1名
○精神障がい者地域移行支援コーディネーター 兼務 地域生活支援拠点コーディネーター (相談支援専門員)	1名
○発達障がいサポート・マネージャー	1名
○事務員(パート)	1名

2 事業内容

- 生活支援(福祉サービスの紹介・調整、余暇活動支援等)
- 療育支援(療育相談、個別療育の設定)
- 就労支援(就労に関する相談・支援、就労支援事業所への助言等)
- 精神保健福祉支援(生活・健康に関する相談、支援)
- 発達障がい支援(支援者に対しての総合的な助言や、必要な支援への橋渡し)
- 地域生活支援拠点整備に関する支援(地域で支える体制づくりの構築)
- サテライト訪問による各町村巡回相談
- 計画相談支援
- 障害支援区分認定調査(町村から依頼があった場合)
- 木曽圏域自立支援協議会の事務局
- 研修会・講演会等の実施

3 事業の報告

1) 総相談件数

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
23	99	82	87	137	428

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
880	308	194	713	590	382	2,303	277	5,647

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
1,000	157	138	399	385	554	319	18	53

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
1,990	255	372	7	5,647

2) 療育支援

- 療育訓練
 - ・委託の OT、ST による個別療育56回実施。
 - ・木曽こどもセンター、日義農村環境改善センター、須原地区間館を借用。
 - ・利用者数 延 180名
- 集団での適応トレーニング
 - ・8回実施 延 20 名(場所は、上松町公民館、ひのきの里会議室)
 - ・スタッフとして木曽病院から療法士派遣
- 巡回相談
 - ・各町村幼・保育園、小中学校、木曽養護学校、木曽こどもセンターを巡回実施
- その他
 - ・長野県発達障がい者支援センター精神保健専門員を迎えての保護者座談会を 2 回実施。
 - ・定期的開催される「親の会」に参加しアドバイザーを務める。

療育コーディネーター

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
6	16	0	36	100	158

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
212	97	0	44	13	8	183	0	557

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
5	84	58	6	16	348	11	0	2

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
0	1	26	0	557

障がい児コーディネーター

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
13	66	19	35	24	157

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
99	29	69	51	8	116	30	0	402

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
49	6	3	13	71	79	15	3	1

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
93	5	64	0	402

3) 就労支援

国の就業・生活支援センター事業を受け、就業担当者2名を配置。

- 対象障がい者の就職件数 一般事業所への就職件数 11件
 - ・障がい者求人が少ないなかで、職場開拓、障がい者理解をしていただいたうえで就労につなげている。職場定着のため、就労後も障がい者、企業双方への支援を重視しています。
- 職場実習のあっせん件数 職場実習 20件
 - ・県の補助事業(障害者短期トレーニング事業)を受けて実習を実施。
- その他
 - ・企業訪問。
 - ・就労支援事業所等利用者に対する相談支援。
 - ・特別支援学校の実習に同行し卒後の就労に向けたアドバイスを実施。
 - ・就職定着支援として「企業で働く仲間たちの集い」を開催(4回)。
 - ・自立支援協議会 就労支援部会と連携し就業支援セミナーを開催(約 100 名参加)。
 - ・企業関係団体会議・研修会などへの参加。

主任就業支援ワーカー

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
7	64	21	25	10	127

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
135	40	44	88	130	54	358	62	911

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
19	2	0	7	5	2	6	0	4

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
813	1	52	0	911

就業支援ワーカー

障がい種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
9	66	19	28	11	133

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
217	44	46	102	125	60	411	65	1,070

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
31	1	7	3	31	2	1	0	8

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
905	1	80	0	1,070

4) 精神保健福祉支援

○相談内容

- ・健康、医療、不安解消、情緒の安定、家族人間関係に関する相談。
- ・福祉サービス、制度の活用(関係機関と連携)。
- ・年金・手帳申請手続き及び準備。
- ・就労相談(就業支援ワーカーとの連携)。

○家族支援

- ・精神障がい者の家族(おかあさんの会、おやじの会)の会を開催。勉強会や情報交換、リフレッシュの場としている。
- ・ともに、精神保健福祉部会の共同開催で「こころをつなぐ家族の交流会」を4回実施した。

名称	回数	参加者	内容
おかあさんの会	3回	延べ30名	茶話会・リラクゼーション 学習会参加
こころをつなぐ家族の交流会	4回	延べ75名	内容:うたの会、レクレーション 運動、昼食会等

○その他

- ・難病、長期療養者のリハビリ、レクリエーションを行う中で、障がいサービス利用への相談にもつながっている。
- ・高齢者と障がい者の音楽の会は、参加者が増えてきている。

保健所デイケア支援	4回	内容:音楽、レクリエーション、グループワーク
難病交流会支援	4回	内容:軽体操、音楽、ゲーム、作業療法、理学療法、相談会
音楽の会	12回	内容:高齢者、障害者への音楽を使った会

精神障がい者生活支援コーディネーター

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
3	12	66	9	8	98

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
135	65	16	261	192	37	1,139	3	1,848

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
791	14	63	350	88	31	239	1	16

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
65	183	0	7	1,848

精神障がい者地域移行支援コーディネーター

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
3	40	8	6	2	59

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
31	12	4	44	121	6	136	70	424

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
93	28	4	12	146	1	31	2	7

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
7	48	45	0	424

地域生活支援拠点コーディネーター

協議名	回数	内容
地域生活支援拠点ワーキンググループ	5回	実施要綱の作成、協議等
地域生活支援拠点等連絡会	4回	具体的取組についての協議等

- ・(県)障がい者相談支援機能強化会議への参加及び木曾圏域としての取り組み状況の発表。
- ・拠点事業についての報告、資料作成、問い合わせについて等の対応を行う。

5)生活支援

生活支援ワーカー

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
1	54	2	14	4	75

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
43	2	15	93	0	28	42	61	284

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
10	21	0	5	11	0	7	12	15

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
103	3	97	0	284

6)発達障がい支援

発達障がいサポート・マネージャー

○教育機関との連携

発達障がい者とその家族が、将来の見通しある社会生活を送れる体制を整備するため、支援者(教育関係等)に対して総合的な助言や支援の橋渡し等を行いました。

障害種別相談者数(実人数)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	合計
1	1	3	20	18	43

支援方法別相談述べ件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
8	19	0	30	1	73	4	16	151

支援内容別相談述べ件数

福祉サービスの利用等に関する支援	社会資源の活用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
2	1	3	3	17	91	9	0	1

就労に関する支援	社会参加に関する支援	余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	計
7	9	8	0	151

7) サテライト(町村巡回相談日)

○巡回相談回数

町 村		実施状況
木曽町	福島(保健センター)	毎月
	開田 三岳 日義	月毎の輪番
南木曽町		毎月
上松町		毎月
大桑村		隔月
木祖村		隔月
王滝村		毎月

※上松町、王滝村は「こころの相談」として精神障がい者生活支援コーディネーターが出向きました。

8) 計画相談支援

指定相談支援事業所として、主に障がい福祉サービスを利用する方に対して計画相談支援を行いました。

○計画相談支援数(モニタリング含)

木曽町 11件 王滝村 0件 大桑村 8件
上松町 1件 木祖村 13件 他圏域 4件

10) 障害程度区分認定調査

○木曽郡内町村の支援区分認定調査依頼を受け実施しました。

11) 木曽圏域自立支援協議会

○事務局として専門部会運営

6つの専門部会、1つのワーキンググループの開催。

(就労支援部会、療育支援部会、生活支援部会、精神保健福祉部会、当事者部会、権利擁護部会、重症心身障がい児・者在宅支援コンダクターチーム)

・1~2カ月に1回の開催

・障がい者を取り巻く地域の課題についての協議

○全体会(1回)

○運営協議会(2回)

○研修会、視察研修の実施。

・療育研修会 3回

・郡特別支援教育連携協議会開催(共催:郡町村教育委員会連絡協議会)

・こころの健康を考える講演会

○「木曽地域自立支援協議会だより」の発行 郡内全戸配布(年4回)

4 その他の主な月別事業報告

4月

6日	木曾養護学校入学式	23日	木曾養護学校保護者会 (センター説明、登録依頼)
12日	中間教室開室式	24日	区分認定調査委員研修会
15日	木曾養護学校同窓会総会		
17日	木曾郡特別支援教育コーディネーター連絡会(木曾養)		

5月

7日	両川先生研修会(王滝小中)	24日	相談支援スキルアップ研修会
8日	中信地区 GH 連絡会実行委員会	24日	木曾郡発達支援センター開所式 ・説明会
9日	木曾病院保健福祉関係者連絡会	24日	県)就労支援部会
11日	県)自立支援協議会 療育部会 重心・医ケア WG	25日	高等学校特別支援教育研究会
15日	県)相談支援強化会議	25日	民生児童委員連絡会議(三岳)
15日	県)精神障がい者地域生活支援 Co 連絡会議	30日	障害者就業・生活支援センター 生活支援ワーカー会議
20日	木曾郡身体障がい者福祉協会 福祉大会		

6月

1日	障害者就業・生活支援センター ワーカー連絡会	19日	木曾圏域自立支援協議会 運営協議会
1日	木曾郡特別支援教育連携協議会 打合せ会	20日	両川先生研修会(木祖小中)
6日	長野県障害者就業・生活支援 センターワーカー連絡会	21日	県)就労支援部会
9日	手をつなぐ育成会総会	25日	木曾養護学校研修会 (木曾自立支援協議会後援)
11日	県)自立支援協議会	29日	サポマネ連絡会
15日	新任管理者研修会	30日	木曾こどもカフェネット研修会

7月

2日	木曾養護学校評議委員会	19日	障害者就業・生活支援センター 連絡協議会
2日	精神保健福祉担当者基礎研修	19日	相談支援従事者初任者研修
3日	相談支援従事者初任者研修	20日	木曾養護学校 事業所説明会
4日	南木曾町こどもサポート協議会	20日	サポマネ連絡会
11日	県)自立支援協議会 療育部会	23日	県)圏域合同就労支援部会
17日	県)相談支援強化会議	23日	精神障がい者地域包括ケア システム研修会
18日	八十二銀行上松支店講演会	30日	相談支援地域移行・地域定着研修会

8月

1日	就業支援者研修会	26日	発達障がい児者における医療と教育と福祉の合同研修会
8日	障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修会	26日	なぎそ福祉会10周年記念 講演会
8日	相談支援従事者初任者研修	31日	サポマネ連絡会
23日	発達障がい支援実践報告会		

9月

3日	障害者就業・生活支援センター南関東地区ブロック経験交流会打合せ	15日	特別支援教育研修会
4日	郡就学支援委員会	18日	特別支援教育地区代表者会
11日	県)相談支援強化会議	24日	総合支援センタースタッフ研修会
13日	入所調整会議	28日	県)自立支援協議会 療育部会
14日	サポマネ連絡会	29日	木曾こどもカフェ研修会

10月

1日	ひきこもり研修会	22日	県)就労支援部会
11日	不登校児童生徒自立支援運営協議会	23日	郡就学支援委員会
12日	医療連携研修会	24日	障害者就業・生活支援センター協議会
16日	長野県発達障がい者支援対策協議会	30日	木曾圏域自立支援協議会運営協議会
17日	GH 世話人連絡会	31日	木曾町要保護児童等対策地域協議会
18日	県)重心 WG 連絡会		
19日	サポマネ連絡会		

11月

5日	地域生活支援拠点フォーラム	20日	木曾郡特別支援教育連携協議会
8日	療育事業 保護者座談会	21日	木曾圏域自立支援協議会 全体会
8日	特別支援教育 Co 養成研修	22日	サポマネ連絡会
8日	施設長認定研修会	28日	障がい者虐待防止・権利擁護研修
15日	福祉・健康・医療地域懇談会		
16日	障害者就業・生活支援センター南関東地区ブロック経験交流会議		

12月

2日	身体障がい者福祉協会研修会	8日	信大病院セミナー
5日	支援センターとともに運営会議	13日	精神支援関係者研修会
6日	県)就労支援部会	14日	サポマネ連絡会
7日	地域で暮そうフォーラム	14日	県)自立支援協議会 療育部会
7日	相談支援スキルアップ研修		

1月

- | | | | |
|-----|-------------------------|-----|----------------------------|
| 8日 | 県)グループホーム連絡会 | 18日 | サポマネ連絡会 |
| 10日 | 木曾郡特別支援教育連携協議会
運営委員会 | 24日 | 郡)虐待防止ネットワーク協議会 |
| 10日 | 県)発達障がい者支援対策協議会 | 30日 | 長野県障害者就業・生活支援
センター連絡協議会 |
| 16日 | サポマネフォローアップ研修会 | 30日 | 上松町地域ケア会議 |

2月

- | | | | |
|----|---------------------------|-----|------------------------|
| 1日 | 障害者就業・生活支援センター
全国フォーラム | 8日 | 成年後見制度促進セミナー |
| 2日 | 企業で働く仲間たちの会 | 8日 | ともに療育事業検討会 |
| 5日 | 木曾養護学校評議委員会 | 12日 | 県)相談支援強化会議 |
| 6日 | 木祖村要保護児童等対策
地域協議会 | 14日 | 木曾こどもカフェ研修会 |
| 7日 | 療育事業 保護者座談会 | 15日 | サポマネ連絡会 |
| 7日 | 就業支援セミナー | 18日 | 木曾郡特別支援教育連携協議会
運営会議 |
| 7日 | 発達障がい支援体制研修会 | 22日 | 県)自立支援協議会 療育部会 |
| 7日 | 精神保健センター座談会 | 25日 | 日中活動系事業所連絡会 |
| 7日 | 特別支援教育地区代表社会 | 26日 | 精神障がい者就労研修会 |

3月

- | | | | |
|-----|----------------------------|-----|------------------------|
| 5日 | 南信地区障害者就業・生活支援
センター主任会議 | 13日 | 障害者就業・生活支援センター
連絡会議 |
| 6日 | 精神障がい者支援者研修会 | 13日 | 発達障がい者支援対策協議会 |
| 7日 | 発達障がい者就労支援研修会 | 15日 | サポマネ連絡会 |
| 7日 | 県)就労支援部会 | 15日 | 大桑村保育所運営会議 |
| 11日 | 自殺対策連絡会 | 16日 | 木曾養護学校卒業式 |
| 13日 | 南木曾町自殺対策委員会 | 19日 | 県)自立支援協議会 |
| | | 28日 | なぎそ福祉会「のどか」開所 |

すてっぴ事業総括

平成 21 年 5 月に就労継続支援 A 型事業としてワークステーション「すてっぴ」の事業が始まり 10 年が経過しました。運営面に関しては開所当初から大変厳しい状況があり、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間以外は赤字の運営が続いています。原因としては定員に対するスタッフ（障がい者雇用）不足での自立支援給付費収入の減が一番の要因です。もう一つは、この事業を行うためには国の配置基準（7.5:1）に沿った職員配置だけでは間に合わないため、職員数が配置基準以上になっていることもあります。これらの課題をクリアするためには、就労収入を増やし、障がい者雇用を増やすことで運営費収入を上げるしか方法はありせん。パン・クッキーの製造販売額はこれまで右肩上がり販売が伸びていましたが、平成 30 年度は対前年比で約 283 万円の減収となりました。この理由としては人口の減少と高齢化により、注文販売が少なくなってきたことでもあります。郡内にパンを作るところが多くなっていたことも一つの要因かと思われます。今後についてはこれまで以上の収入を見込むことは困難かと思われますので、いかに落ち込み幅を小さくするかにかかってきます。このためには新たな販売先が確保することも必要ですが、平成 31 年度（2019 年）から始まる働き方改革に対処の一環としてパン焼き職員の出勤時間を 1 時間遅らせる等の配慮も必要なことから、現状の職員体制の中では新たな販売先の開拓は難しく、全般的な見直し必要となっています。

受託事業部門では、4 月から上松町の給食受託業務が新規事業として始まったことにより、就労収入も運営費収入も飛躍的にアップしています。また、託児事業が平成 29 年 9 月から再開されていますので、30 年度もその分収入が上がったことで増収になっています。しかし、企業からの委託事業ですので今後も子供の利用状況による不安定な要素はあります。清掃受託部門については上松町からの委託費が増えたこともあり順調な運営ができています。

平成 30 年度の決算状況も昨年に続き大変厳しい内容であり、就労部門を除いた収入不足が約 2,000,000 円で、他会計から繰入れをして対応しています。スタッフは実人員 17 名の雇用ですが、出勤が不安定な人もいたため 1 日平均の利用者数が 15.2 人となり 2,356,569 円の黒字となりました。31 年度において工賃変動積立金・設備等整備積立金に積み立てることになります。31 年度はもう一人障がい者雇用を図ることで運営費収入も上げ、他会計からの繰入金を減らせるよう取り組んで参ります。

1. A 型事業の内容

○定員 就労継続支援 A 型事業 20 名

(1) 製造・販売事業

○森のパン工房「ほっぺ」においてパン・クッキーの製造販売

稼働日は月曜日から土曜日（年稼働日 304 日）

利用者業務時間 8:45～14:45（実働 5 時間）

販売は注文販売と上松町内での固定売場

注文販売 — 販売先は別紙の通り

固定販売 — 上松町は「大沢商店」、喫茶「I will」

木曾町は道の駅「木曾市場」

(2) 受託事業

○清掃受託業務

- ・稼働日は月曜日から金曜日(年稼働日 253 日)
- ・利用者業務時間 8:45~14:45(実働 5 時間)
- ・清掃業務受託先 - 上松荘
上松町(ひのきの里総合センター)

○託児事受託事業

- ・稼働日は月曜日から土曜日(年稼働日 256 日)
- ・利用者業務時間 8:45~14:45(実働 5 時間)
- ・清掃業務受託先 - 上松電子株式会社

○給食業務受託事業

- ・稼働日は月曜日から日曜日(年稼働日 365 日)
- ・利用者業務時間 6:00~15:00(実働 8 時間)
10:00~19:00(実働 8 時間)
- ・清掃業務受託先 - 上松荘

★平成 30 年度 障がい者雇用状況(月初め在籍状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定員	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
実人員	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
差	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3	-3

※1日当たりの平均利用者数 15.2人

2. 就職活動及び就職実績

	男性	女性	計	就職に結び付いた人数
就職説明会参加	0名	0名	0名	0名
企業職場実習	2名	0名	2名	1名
実人数計	2名	0名	2名	1名

3. すてっぴ職員配置(常勤換算)

平成 31 年 3 月 31 日現在

職名	施設長	サービス 管理 責任者	賃金向上 達成 指導員	職業 指導員	生活 支援員	就労支援 事業 指導員	計 (※)
職員 数	0.1 (兼務)	1.0	1.0	9.0	1.0	0.6	13.6

※合計には施設長は含まず

4. 障がい別の雇用状況

	知的障がい	身体障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	計
年度当初	6名(1)	5名(1)	3名	0名	2名	16名
年度末	7名(1)	5名(1)	3名	0名	2名	17名
増減	+1	-1	±0	±0	±0	+1

※()内の人数は、知的障がいと身体障がいの重複者であり、障がいの重い方でカウントしています

5. 就労収入・支出、時給単価等の推移

平成31年3月31日現在

年度	就労収入額	就労支出額	就労関係積立金	平均時給
平成22年度	13,489,732円	15,604,883円	0円	697円
平成23年度	22,179,559円	24,149,244円	0円	707円
平成24年度	26,899,295円	26,379,878円	0円	711円
平成25年度	26,896,029円	27,031,434円	0円	719円
平成26年度	30,077,361円	29,373,232円	700,000円	730円
平成27年度	29,901,415円	28,505,183円	1,396,232円	746円
平成28年度	27,957,610円	28,457,610円	996,000円	780円
平成29年度	31,364,694円	30,207,693円	1,157,001円	793円
平成30年度	39,075,744円	36,711,399円	2,364,345円	833円

◆平成 30 年度 就労収入額の内訳

平成 31 年 3 月 31 日現在

就労事業	平成 29 年度	平成 30 年度	差 額
パン製造販売収入	19,423,408 円	18,055,315 円	▲1,368,093 円
クッキー製造販売収入	5,262,536 円	3,802,639 円	▲1,459,897 円
清掃受託収入	4,453,750 円	4,467,790 円	14,040 円
託児業務受託収入	2,225,000 円	※1 5,450,000 円	3,225,000 円
給食業務受託収入	0 円	※2 7,300,000 円	7,300,000 円
その他販売収入	0 円	0 円	0 円
合 計	31,364,694 円	39,075,744 円	7,711,050 円

※1 託児収入は年間 8,100,000 円(税込)ですが、この金額の中には施設運営費として保育士の人件費も入っていますので、按分し就労収入は 5,450,000 円としています。

※2 上松荘給食受託収入は年間 20,000,000 円(税込)ですが、この金額の中には施設運営費として職員の人件費も入っていますので、按分し就労収入は 7,300,000 円としています。

◆過去 4 年間の賃金実績比較

年 度	長野県最低賃金	すてっぷ支払単価	平均支給月額
平成 22 年度	693 円	693～830 円	69,621 円
平成 23 年度	694 円	694～830 円	69,620 円
平成 24 年度	700 円	700～830 円	75,086 円
平成 25 年度	713 円	714～830 円	76,589 円
平成 26 年度	728 円	730～830 円	77,418 円
平成 27 年度	746 円	746～830 円	78,398 円
平成 28 年度	770 円	780～830 円	80,138 円
平成 29 年度	795 円	800～830 円	81,378 円
平成 30 年度	821 円	821～970 円	88,640 円

※毎年 10 月 1 日に最低賃金改定

6. 苦情解決

◆第三者委員による巡回相談 1 件

日 時	相談者数	相 談 内 容
H30 年 9 月	1 名	体調不良に伴う不安事の相談

◆苦情受付者への相談 1 件(本人の希望により苦情扱いにはしない)

日時	苦情又は要望	苦 情 内 容
H31 年 3 月	苦情	本人がいないところでの、職員の言動で傷つくことがあった。

7. 行事報告

H30年 4月

1日	上松荘給食受託業務スタート	12日	支援会議
2日	法人 始業式	14日	スタッフミーティング
3日	法人代表者会議	17日	託児職員会議
6日	職員会議		

5月

1日	調理部門会議	14日	自立支援協議会就労支援部会
2日	法人代表者会議	18日	職員会議
12日	スタッフミーティング	31日	法人代表者会議

6月

1日	職員研修会	19日	自立支援協議会運営委員会
9日	スタッフミーティング	19日	託児職員会議
12日	サービス管理責任者等会議	20日	調理部門会議
15日	職員会議	21日	他施設視察研修
16日	日帰り研修	27日	土砂災害に対する防災研修会
18日	自立支援協議会就労支援部会		

7月

3日	上松食協役員会	21日	託児職員会議
6日	職員会議	23日	自立支援協議会就労支援部会
10日	サービス管理責任者等会議	24日	南木曾町民生委員会視察
13日	調理部門会議	26日	木曾養護学校先生視察
14日	スタッフミーティング	27日	木曾養護学校生徒・保護者視察
20日	木曾養護学校で事業説明会		

8月

7日	調理部門会議	20日	自立支援協議会就労支援部会
7日	託児受入説明会	21日	法人事業所見学研修会
11日	利用者スタッフミーティング	21日	託児職員会議
3日	職員会議	28日	サービス管理責任者等会議
18・19日	アレルギー基礎研修会参加		

9月

8日	利用者スタッフミーティング	19日	第三者委員相談日
10日	自立支援協議会就労支援部会	25日	採血
11日	調理部門会議	26日	サービス管理責任者等会議
14日	職員会議		
18日	託児職員会議		

10月

5日	法人リスクマネジメント研修会	15日	自立支援協議会就労支援部会
5日	サービス管理責任者等会議	16日	託児職員会議
12日	職員会議	17日	調理部門会議
13日	利用者スタッフミーティング	23日	健康診断

23~5日 木曾養生徒実習受け入れ
29日 サービス管理責任者等会議
30.31日 防火管理者講習会受講

11月

1日	感染症予防研修会	19日	自立支援協議会就労支援部会
9日	木曾養護学校生徒・先生視察	19日	松本岡田地区ボランティア部会 視察受入
13日	木曾養護学校生徒職場見学受入	20日	木曾養護学校連絡協議会
13日	利用者スタッフミーティング	21日	法人事業所見学会
12日	調理部門会議	26日	託児職員会議
16日	職員会議	27日	サービス管理責任者等会議

12月

7日	法人職員交流会	18日	託児クリスマス会、託児職員会
8日	利用者スタッフミーティング	18日	自立支援部会調整会議
11日	木曾保健所厨房立入調査	27日	12月サービス管理責任者等会議
11日	調理部門会議	29日~1月4日	正月休み
14日	職員会議		
17日	自立支援協議会就労支援部会		

H31年1月

5日	利用者スタッフミーティング	18日	職員会議
5日	スタッフ合同新年会	21日	自立支援協議会就労支援部会
8日	第1工場企画会議	22日	託児職員会
9日	食品表示法研修会	29日	サービス管理責任者等会議
18日	調理部門会議		

2月

7日	障がい者雇用セミナー	18日	自立支援協議会就労支援部会
9日	利用者スタッフミーティング	19日	託児職員会
12日	調理部門会議	29日	サービス管理責任者等会議
15日	職員会議		

3月

5日	託児新規利用家庭説明会	16日	木曾養護学校卒業式出席
5日	調理部門会議	19日	託児職員会
7日	託児「認可外保育施設立入調査」	29日	サービス管理責任者等会議
7日	自立支援協議会就労支援部会	18日	自立支援協議会就労支援部会
9日	利用者スタッフミーティング	27日	パスコ展示会
15日	職員会		

こまくさワークセンター

平成 19 年 5 月に事業を開始した『こまくさワークセンター』は、11 年を終えました。30 年度は、新たな事業はなく、従来から本体で取り組んでいるリサイクル事業、ひのきアートフラワー、企業からの内職受託、サテライトで取り組んでいる“Cafe I will” “笑ん館パン工房” “薪製造販売” の充実を目指して活動してきました。

事業所の規模に関しては、31 年 2 月の指定サービス事業者更新にあわせて、これまでの定員 20 名から主たる事業所(こまくさ) 20 名、従たる事業所(笑ん館パン工房) 10 名合計 30 名定員の事業所となっています。

利用者については、高齢によるところの利用中止の方が 2 名ありましたが、新たに 2 名の方の利用がはじまりました。利用者の中には心身の状態が不安定で欠席が続いたり、利用者間でのトラブルにつながってしまう方もみえます。全般的に日々の健康面でのチェックを行い、各人の作業内容にも十分な配慮が必要となっています。よって今後も利用者の意向を尊重したうえで、関係機関との連携を取りながら、利用施設の見直しについても進めていくことが必要となっています。

1. 利用状況(年間開所日数 330 日)

30 年度 利用実績		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
B 型	登録数	34	34	34	35	35	34	31	31	31	32	32	32	*
	延利用	562	570	574	559	532	506	577	559	527	487	495	524	6,472
笑ん館 (再掲)	登録数	4	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	*
	延利用	44	49	50	48	54	52	55	59	56	54	58	65	644

2. 就労事業の状況

就労事業について、過去最高収益を記録した昨年を上回る 11,926,309 円の収入をあげることができましたが、明確な増収は協利工業内職、薪製造、BDF 製造の 3 事業で、他は前年並みか、減収となっています。また、牽引役の 3 事業の中でも、協利工業は、同じ自動車関連企業の上松電子の内職収入が前年度比 23%もの減となっており、世界的な自動車工業の変革期で減産部門も出てきているとのこと、今後の情勢には注視していく必要を感じます。BDF については、2019 年度より事業所の受け入れをやめると共に、回収する廃食油の質の低下によるトラブルもあり、良質な原料の確保が課題です。

地域の人口減少、高齢化が進む中、これまで行ってきた地域のニーズや要望を把握し、皆さんが喜んでいただける地域に根ざし、地域に必要なとされる事業所を目指すことで収入を維持し、その上で業務の開拓や効率化により収入増をはかっていきたいと思えます。

利用者の平均工賃月額については、ベースとなる日額を 100 円引き上げたこともあり、20,125 円から 21,116 円となり、工賃向上計画の目標値を超えることができました。前述のように課題は多いですが、今後も工賃アップに向けて取り組み、利用者の皆さん意欲向上につなげていきたいと考えています。

就労事業の収支の詳細については、別表の通りです。

3. 主な活動状況

4月

2日	法人始業式	23日	郡ふれあいスポーツ交流会 実行委員会(合庁)
12日	王滝村有機肥料出張販売	24日	29年度ボーナス支給

5月

1日	開所記念外出レクリエーション	20日	木祖村健康福祉まつり出店販売
GW休暇	笑ん館 2~5日 こまくさ 3~6日	22日	法人会計監査
14日	自立支援協・就労支援部会 (合庁)	24日	郡ふれあいスポーツ交流会 実行委員会(合庁)
18日	自立支援協・日中活動支援部会 (合庁)	25日	(養)職場実習打ち合わせ
		29日	(養)職場実習打ち合わせ

6月

1日	避難訓練	20日	法人評議員会
4日	法人理事会	28日	土砂災害等防止研修会(合庁)
8日	笑ん館保健所立入検査	29日	利用者企業体験ふりかえり (開田高原・同志舎)
15日	食協上松支部総会		
18日	自立支援協・就労支援部会(合庁)		

7月

11日	町公民館移動図書館	20日	木曾養・事業所説明会
13日	藪原祭り(~14日)	23日	自立支援協・就労支援部会(合庁)
14日	大宮神社祭礼(~15日)	26日	町少年相撲大会 (Cafelwill 無料カキ氷券配布)

8月

8日	法人常勤理事会 町公民館移動図書館	22日	人権意識高揚地区研修会(合庁)
11日	こまくさ・笑ん館大そうじ工賃支給	23日	法人常勤理事会
13日	お盆休み(~16日)	31日	ボランティア地域活動フォーラム 出店(南木曾)
20日	自立支援協・就労支援部会(合庁)		

9月

4日	台風接近のため GH利用者のみとして開業	11日	法人常勤理事会
10日	自立支援協・就労支援部会※中止	14日	王滝村有機肥料出張販売 200袋販売

10月

1日	利用者無断外出	20日	(養)駒の子祭アートフラワー しおり販売
5日	上松荘研修会		
15日	自立支援協・就労支援部会(合庁)	23日	法人理事会職員健康診断
16日	食品衛生管理者講習会 (町文化C)	25日	法人県指導監査

11月

1日	上松荘研修会	21日	自立支援協議会全体会
13日	法人常勤理事会	27日	県実地指導
19日	自立支援協・就労支援部会(合庁)	28日	アルプス福祉会法人本部3名来所
21日	法人事業所見学		

12月

3日	避難訓練	17日	大桑村男性事業所見学
4日	社会福祉法人の運営に 関する説明会(県庁)	18日	大桑村女性事業所見学
7日	法人職員交流会	28日	大そうじ、仕事納め

1月

4日	仕事はじめ、町新年顔合わせ	21日	自立支援協・就労支援部会(合庁)
17日	体験希望利用者受け入れ		

2月

7日	就業支援セミナー(合庁)	21日	体験希望利用者受け入れ
18日	自立支援協・就労支援部会(合庁)	26日	法人理事会
20日	成年後見制度セミナー (総合文化C)		

3月

9日	Cafelwill5周年記念 “はるまちコンサート”	14日	体験希望利用者受け入れ
		26日	法人理事会

主な活動状況

こまくさスタッフ会議、笑ん館スタッフ会議	毎月実施
法人代表者会議、法人サビ管連絡会議	毎月実施
利用者ミーティング	毎月末に実施
PDCA委員会 (職員間で就労事業の状況を確認し、売上向上を目指すために29年度より)	随時実施

4. 行事、レクリエーションの状況

利用者の日常生活に変化を持たせ、仕事に対する意欲を継続できるよう、各機関主催の行事に積極的に参加するとともに、祭日等を利用して独自の行事やレクリエーションを取り入れました。

4月29日(日)	三徳稻荷祭礼	やきいも販売	利用者	18名参加
6月9日(土)	郡ふれあいスポーツ交流会(大桑村)		9	〃
9月9日(日)	県障がい者スポーツ大会(松本市)		10	〃
9月22日(土)	バーベキュー会		20	〃
10月6日(土)	ブドウ狩り(伊那市・みはらしファーム)		23	〃
11月23日(金)	外出レク(伊那市・県民文化センター、アピタ)		19	〃
12月22日(土)	クリスマス会		20	〃

5. 在宅の重度心身障がい者の方との交流会

障がい者総合支援センター「ともに」、りんくきそと連携し、木祖村の重度心身障がい者と利用者の交流会を、笑ん館を主会場にして実施しました。(日中一時支援事業)

5月23日(水) 6月21日(木)

6. ケア会議の開催状況

障害者総合支援センター「ともに」と連携し、利用者・保護者・関係機関がつどい、随時開催されました。

5月17日(木) 6月21日(木) 6月27日(水) 12月13日(木)

7. 苦情解決相談の状況

第三者委員による相談が年2回行われました。7月には2名、3月には3名の方が利用しましたが、自らの毎日の仕事の様子やグループホームでの生活を報告することが多く、苦情相談に該当する者はありませんでした。

7月20日(金) 3月22日(金)

8. 木曾養護学校 職場実習受入状況

養護学校卒業後の受け入れ先となることを見込んで、職場実習を積極的に受け入れました。

6月4日(月)～15日(金)	木曾養・高等部3年男子
6月11日(月)～15日(金)	木曾養・高等部2年男子
11月12日(月)～22日(木)	木曾養・高等部3年男子

9. 職員 専門研修

職員のスキルアップを目的に、常勤職員・パート職員の区別なく、各種研修に可能な限り参加しました。

- * 障がい者職業生活相談員研修(松本市) 9月20日~21日
- * 虐待防止伝達研修(木曽合庁)
- * 精神保健従事者基礎研修(松本市) 7月6日
- * 感染症予防講習(木曽合庁) 11月19日
- * 食品衛生管理者講習会(伊那市) 11月28日
- * 上松荘職員研修会

10. 《職員の状況》

	*こまくさ	*笑ん館
センター長	常勤1名	
サービス管理責任者	常勤1名	
職業指導員		常勤1名
生活支援員	パート3名	パート3名
目標工賃達成指導員	常勤1名	
シルバー人材センター派遣職員	4名	

11. 平成 30 年度就労支援事業収支

就労支援事業収入		就労継続 (B型)
製造・販売	BDF 製造販売	786,600
	有機肥料販売	516,470
	薪製造販売	1,513,150
	計	2,816,220
受託事業	リサイクル事業 (アルミ缶)	136,460
	リサイクル事業 (古紙類)	418,830
	広域連合 北部廃食油処理費用	74,100
	協和工業 内職作業	1,331,614
	上松電子 内職作業	589,346
	上松町リサイクルセンター	809,760
	上松町 清掃業務等委託	60,480
	上松社協 清掃業務等委託	51,600
	木曾人 折込内職作業	124,300
	アートフラワー販売	417,817
	その他の内職作業等	141,455
	計	4,155,762
	喫茶事業	Café I will (上松公民館内)
笑ん館 パン工房 (木祖村)		2,803,087
笑ん館 清掃業務委託 (笑ん館・庁舎等)		601,500
計		4,954,327
合 計		11,926,309

就労支援事業支出		就労継続 (B型)
製造・販売	利用者工賃	1,663,740
	材料費	619,712
	経費	238,445
	計	2,521,897
受 託	利用者工賃	3,812,130
	材料費	60,184
	経費	214,626
	計	4,086,940
喫 茶	利用者工賃	884,110
	材料費	578,961
	経費	77,281
	計	1,540,352
パン工房	利用者工賃	1,110,960
	材料費	1,650,153
	経費	316,087
	計	3,077,200
合 計		11,226,389
収 支 差 額		699,920

平均工賃額

年度	こまくさワークセンター				長野県		加算
	就労収入総額	工賃支払総額	月 額	時間給	月 額	時間給	
H30	11,926,309	7,470,940	21,116	295			
H29	11,741,190	7,201,800	20,105	277	15,787	243	◎
H28	11,229,914	6,473,125	17,979	257	15,246	233	◎
H27	10,119,512	5,827,830	15,579	227	14,591	205	◎
H26	7,397,418	4,792,400	14,546	210	14,333	209	◎
H25	5,921,618	4,347,100	12,627	188	14,074	203	◎
H24	4,680,232	3,726,980	11,500	159	13,686		
H23	4,470,151	3,736,800	12,619	171	13,072		◎
H22	4,674,344	3,343,610	13,112	173	12,290		◎
H21	3,539,783	2,809,950	9,871	129	12,279		
H20	4,272,679	2,694,000	11,430	163	10,771		◎
H19	3,180,510	2,043,490			10,955		

※① ◎印－ 目標工賃達成加算 該当

② 平成26年度から目標工賃達成加算該当条件変更

平成 30 年度 就労事業別内訳

事業名	就労収入 総額	工賃支払 総額	月 額	時間給	対象者 数	対象者 総労働時間	対象者 延月数
製造販売	2,816,220	1,663,740	20,540	279	7	5,970	81
受 託	4,155,762	3,812,130	19,253	257	18	14,852	198
喫茶飲食	4,954,327	1,995,070	24,037	446	7	4,478	83
計	11,926,309	7,470,940	20,105	295	32	25,300	362

木曾こどもセンター

発達に心配のある児童の早期療育の重要性の期待を受けて、就園に向けての基礎づくり及び児童の社会性を学ぶ場として児童及び保護者への支援をしています。

児童発達支援11名、放課後児童サービス3名が利用されました。児童発達支援のうち就園児に関しては、各町村保健師、郡内幼保育園長・主任保育士に当センターでの様子を参観していただき移行のための連絡会を行いました。

学童3名は、必要に応じて学校と連絡を随時行いながら継続支援をしております。

1. 事業形態

	児童発達支援	放課後児童デイ
対象児	就園前の幼児	小学生～18歳
平均利用者数	4～5名	1～2名
受け入れ日	月～金曜日	月～金曜日
受入れ時間	9:30～14:15	15:10～17:40
内容	就園へ向けての社会性の基礎作りと保護者への発達理解や育児の工夫、関わり方などを一緒に考えていく。	自立に向けて、本人の持っている力を引き出しながら生活スキル、自己肯定感を伸ばしていけるよう支援する。

・長期休業中は、どちらか一方の事業となります。

2. 利用状況(述べ人数)

町村\月	4	5	6	7	8	9	
木曾町	18	16	30	31	34	35	
上松町	9	10	11	10	8	12	
計	27	26	41	41	42	47	
町村\月	10	11	12	1	2	3	合計
木曾町	42	47	34	49	59	49	444
上松町	10	3	12	19	18	18	140
木祖村	5	7	5	8	13	9	47
大桑村		1	1	1	1		4
計	57	58	52	77	91	76	635

(利用があった町村のみ掲載)

3. 職員の状況

所長 1名(こまくさワークセンター長兼務)

児童発達支援管理責任者 1名

保育士(常勤) 1名 (嘱託) 1名

4. 保護者の悩みや心配事を受ける形で個別相談や学習会

- ・県精神保健福祉センター職員による保護者座談会の実施
- ・理学療法士によるペアレントトレーニング6回 フォローの会2回
- ・作業療法士による相談日

5. 月別報告事項

4月		開所日数	20日
10日	OT相談日	25日	こいのぼり制作
17日	ST巡回	26日	OT相談日
5月		開所日数	21日
7日	OT相談日	22日	園外保育(木曾馬の里)
14日	園外保育(森林公園)	25日	園外保育(センター周辺)
17日	園外保育(センター周辺)		
6月		開所日数	21日
4日	園外保育(中島公園)	25日	OT相談日
19日	南部サテライト (於:大桑村保健センター)	26日	園外保育(森林公園)
20日	OT相談日	28日	座談会 保護者4名参加
7月		開所日数	20日
2日	七夕制作	17日	OT相談日
6日	大雨により避難勧告発令のため、 休園	18日	プール遊び開始
9日	ペアレントトレーニング① (PT来所)	24日	OT相談日
10日	OT相談日	26・27日	夏季休業中 木曾養学童利用
13日	木曾町遊びの教室より見学 4組 (木曾町保健師同行)	31日	学童利用児 支援会議出席
8月		開所日数	19日
1日	OT相談日、防犯研修	21日	南部サテライト (於:大桑村保健センター)
2日	園外保育(森林公園)	23日	園外保育(来入児広場)
9日	放デイ見学(木曾町保健師同行)	24日	OT相談日
17日	園外保育(太陽の丘公園)	28日	園外保育(日義義仲公園)
20日	ペアレントトレーニング② (PT来所)	31日	OT相談日
9月		開所日数	18日
3日	来所(上松町保健師)	19日	園外保育 (明星岩公園 義仲公園)
7日	来所(上松町保健師)	21日	OT相談日
10日	ペアレントトレーニング③ (PT来所)	26日	園外保育(旧上田小校庭)
11日	園外保育(こだまの森)	27日	OT相談日
14日	OT相談日	28日	園外保育(こだまの森)
18日	園外保育(大桑スポーツ公園)		

10月		開所日数 22日	
2日	園外保育(明星岩公園)	19日	原ST巡回
3日	OT相談日	22日	園外保育(中島公園)
9日	ペアレントトレーニング④	24日	大桑村より見学(保健師同行)
10日	放デイ見学 (ひのきちゃんハウス職員付添)	26日	OT相談日
16日	南部サテライト (於:大桑村保健センター)	29日	上松町より見学(保健師同行)
		31日	園外保育(森林公園)
11月		開所日数 20日	
2日	OT相談日	21日	中南信地区母子通園訓練施設 職員研修会
9日	OT相談日、療育支援部会	29日	座談会 保護者5名参加
19日	ペアレントトレーニング⑤	30日	OT相談日
20日	特別支援教育連携協議会研修会		
12月		開所日数 18日	
5日	クリスマス制作	18日	木曽ロータリークラブ慰問 (2名来所)
7日	OT相談日 単独通所開始(児の様子によって)		南部サテライト (於:大桑村保健センター)
10日	ペアレントトレーニング⑥ (PT来所)	21日	防災設備点検、OT相談日
14日	OT相談日	25日	木祖村より見学(保健師同行)
17日	ペアレントトレーニング フォローの会(PT来所)	27日	OT相談日
1月		開所日数 18日	
7日	障がい者虐待防止・権利擁護研修	22日	南部サテライト (於:大桑保健センター)
11日	OT相談日	25日	第三者苦情解決相談日
18日	OT相談日	31日	OT相談日
2月		開所日数 19日	
4日	連絡会2ケース (木曽町保健師2名 きそふくしま保育園主任)	8日	OT相談日
		14日	OT相談日
5日	連絡会2ケース (木曽町保健師2名 きそふくしま保育園主任)	18日	OT相談日
		19日	南部サテライト (於:大桑村保健センター)
6日	連絡会1ケース (木曽町保健師 木曽幼稚園主任)	25日	おひなさま制作、放課後デイ見学 (木曽町福祉担当者同行)
		27日	大桑村より見学(保健師同行)
7日	発達障がい児支援者研修会		

3月		開所日数	20日
1日	連絡会1ケース (木曾村保健師 支援センター職員 とちのみ保育園主任)	8日	OT相談日
		11日	ペアレントトレーニング フォローの会(PT来所)
4日	重心コンダクターチーム会議 午睡練習開始	15日	OT相談日
		20日	木曾町より見学(保健師同行)
5日	連絡会3ケース (上松町保健師 上松保育園園長)	25日	木曾町より見学(保健師同行)
		27日	園外保育

6. 寄付金の状況

木曾ロータリークラブ	50,000 円	(歳末慰問金)
長野県共同募金会	94,000 円	(NHK 歳末たすけあい募金、遊具購入費用)

ひのきちゃんハウスは、平成 15 年 5 月 10 日に木曾養護学校卒業生の集いと活躍の場の確保を目的に保護者の会と卒業生を中心に設立され、現在の地(木曾町福島 1320 番地)にて「木曾養護学校同總會ひのきちゃんハウス運営委員会」により同窓会・保護者の会の様々な行事の計画実施、木曾グリーンセンターより委託されたリサイクル広場の管理業務、リユース品の販売、木曾養護学校児童・生徒の長期休み時や放課後の受け入れ(タイムケア事業)を行なってきました。

平成 26 年 10 月に運営を当法人が引き継ぎ、上記の事業・活動に加え、地域で生活される方で就労施設等の利用が難しい方の日中の居場所づくりを目的に新たに生活介護事業を行なっています。

現在、事業の大きな柱は生活介護事業と日中一時支援事業(旧タイムケア事業)になります。生活介護事業は年々利用者が順調に増加しており(平成 26 年平均利用者数 4.4 人→平成 30 年度平均利用者数 8.6 人)定員の 10 名に達する日もありました。一方、日中一時支援事業は法人移行後では最も多い利用人数でしたが(年間 1,521 名、1 日平均 4.2 名)、短時間の利用者・利用料の単価の低い郡外利用者の増加もあり収入の伸びにはつながりませんでした。事業全体では、生活介護事業の収入の増加を受け施設運営費を事業所単独の収入で補える状況になっています。

職員配置では、常勤の看護師を平成 27 年 9 月から配置することも出来、生活支援を含め国が定める配置基準以上の職員を引き続き確保できています。

今後より安定した運営を継続する上では、事業の中心である生活介護利用者を増やしていく必要があります。各関係機関への働きかけを強めていきたいと考えています。また、日中一時支援事業につきましては、利用の主となる木曾養護学校の児童・生徒の減少により更なる利用料収入の低下が予想されますが、引き続き養護学校をはじめ地域の支援学級に通う児童・生徒の放課後、長期休み時の受け入れを中心に成人を含めた在宅の方の緊急受け入れ等地域の細かなニーズに対応しながら収入の減少を抑えていきたいと思っております。

施設開所当初より行なってきました同窓会活動の支援につきましては従来どおり各行事の計画を同窓会の役員とともに立て実施しています。この間同窓生は130余名に増える中、郡外出身者や卒業後郡外で生活する方が増え各行事への参加人数が低下している状況です。「手をつなぐ育成会」・木曾障がい者総合支援センター「ともに」においても在宅の障害者に向けた様々な行事が開かれるようになり同窓会設立時と状況が大きく変わる中で、木曾養護学校同窓会ならではの行事を考え実施していくように各行事の見直しを行なっていく予定です。

リサイクル・リユース事業につきましては、毎年一定量の資源物の受け入れと多数のリユース品販売を通して、地域におけるゴミの減量と資源の再利用の取り組みに協力することができており法人内の地域貢献活動の一翼を担っています。引き続きリサイクル広場を多くの方に活用して頂けるように木曾グリーンセンターを通し地域への呼びかけを強めていくとともに、現在敷地内の整理・整頓やリユース品の値札貼りなどの作業に携わる利用者に対してはよりやりがいを持てるよう幅広い作業内容を用意していきたいと思っております。

1. 職員配置 (常勤換算による)

職種	配置基準	職員数	備考
管理者	0人	0.1人	サビ管兼務
サービス管理責任者	1人	1人	
看護師	1人	1人	
生活支援員(リサイクル事業含む)	4人	4.5人	
嘱託医	1人	1人	金松医師
合 計	7人	7.6人	

2. 平成30年度 生活介護利用者状況

1) 平成 30 年 【生活介護事業】 利用者実績

[定員]	10名	内訳	法人内GH	10名
[登録者]	17名		他法人GH	3名
			その他(在宅)	4名

区分(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
2	9	14	12	13	7	11	66	
3	43	50	38	41	46	31	249	
4	27	32	30	30	32	40	191	
5	25	28	31	53	56	38	231	
6	63	72	66	65	73	60	399	
延人数	167	196	177	202	214	180	1136	
算定日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日	135日	
平均利用者数	7.6	8.5	8.0	8.8	9.3	8.2	8.4	
区分(人)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度合計
2	8	5	7	5	3	11	39	105
3	47	49	28	20	30	34	208	457
4	30	30	31	27	29	27	174	365
5	69	64	50	44	50	53	330	561
6	69	68	65	58	58	62	380	779
延人数	223	216	181	154	170	187	1131	2,267
算定日数	23日	22日	20日	20日	20日	23日	128日	263日
平均利用者数	9.7	9.8	9.1	7.7	8.5	8.1	8.8	8.5

3. 平成30年度 日中一時支援事業利用者状況

(定員) 15名

(登録人数) 49名(日中一時利用20名、リサイクル7名、木曽クラブ18名)

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	
日中利用	130	115	128	112	122	122	729	
リサイクル事業	18	19	19	18	14	17	105	
延利用者数	148	143	156	130	141	144	862	
延利用時間(H)	703	549	591.5	561	884	576.5	3,865.0	
(人)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年度合計
日中利用	115	101	96	62	71	77	522	1251
リサイクル事業	22	20	17	18	17	21	115	220
木曽クラブ	7	6	3	0	0	7	23	51
延利用者数	144	127	116	80	88	105	660	1,522
延利用時間(H)	512	546.5	494	383.5	399	642.5	2,977.5	73,730

4. 平成30年度 リサイクル・リユース事業状況

(1)リサイクル受付件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1,268	1,162	1,178	1,222	1,317	1,116	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
1,231	1,134	1,427	1,129	1,154	1,336	14,719

(2)リユース品販売実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
来客数(人)	312	315	353	362	334	330	
販売額	94,991	104,441	105,700	110,939	110,146	122,223	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
来客数(人)	396	339	325	298	254	351	3,969
販売額	145,192	132,716	105,267	76,369	68,473	82,343	1,258,800

5. 平成30年度 同窓会活動支援状況(障害者バスケットチーム木曽クラブも含め)

(1) 行事関係

実施日	内容	参加人数
4月13日	同窓会定期総会	13名
9月30日	同窓会成人を祝う会	(台風で)中止
11月25日	木曽クラブ大会参加(茅野市)	6名
1月20日	同窓会新年会(伊那市)	11名
3月17日	木曽クラブ大会参加(茅野市)	7名

※木曽クラブについては上記以外に5・6・8・9・10・11月練習実施

(2) その他

同窓会活動支援では行事以外に、同窓生が気軽に集まれるように集いの場を常設しており30年度は年間で77名の同窓生・保護者等の利用がありました。

6. 平成30年度 行事实施状況

4月	9日	第2回避難訓練(木曽情報センターと合同実施)	
24日	お花見会(大桑村)	12日	秋の外出(中津川市)
5月	26~28	木曽地域ボードレスアート展	
23日	ハイキング(駒ヶ根市)	11月	
6月	15日	お楽しみ会(ピザ作り)	
8日	サンスポート駒ヶ根 出張スポーツ教室	12月	
9日	木曽郡ふれあいスポーツ交流会	22日	クリスマス会
23日	第1回避難訓練	1月	
7月	16日	新年会(初詣・伊那市)	
19日	バーベキュー会(木祖村)	19日	パラスポフェスタin木曽参加
8月	2月		
7日	お楽しみ会	1日	節分
9月	3月		
17~23	利用者作品展(ひのきの里総合福祉センター)	1日	サンスポート駒ヶ根出張スポーツ教室
10月	5日	ひな祭り会	
	20日	第3回避難訓練	

7. 健康管理・利用者さんの身体機能維持の取り組み

嘱託医・PT・OT訪問

	訪問回数	診察・指導を受けた延べ人数
嘱託医(金松医師)訪問診療	12	75
PT(上松荘より)訪問指導	2	9
OT(木曾こどもセンターより)訪問指導	4	20

8. 苦情相談受付

第3者委員による苦情相談を4月と12月に実施し、各月5名の方が話しをしました、施設に対する苦情は上がりませんでした。他事業所(グループホーム)についての訴えが上がり、関係事業所に伝えています。

9. 職員研修

実施日	内容	参加人数
6月1日	行動障害に役立つ個別支援の考え方(上松荘)	3
7月5・6日	福祉職員生涯研修[中堅過程](駒ヶ根市)	1
7月25日	障害者の自己決定支援(上松荘)	2
9月13日	高次脳機能障害の理解(和ヶーション)	1
10月5日	福祉サービスにおけるリスクマネジメント(法人全体研修)	1
10月13日	事故防止について危険予知訓練	5
11月19日	社会福祉施設における感染症の発生及び蔓延防止研修	5
11月28日	虐待防止・権利擁護研修(塩尻市)	1
3月24・29日	虐待防止・権利擁護伝達研修	6

10. ボランティア受け入れ

団体名	回数	延べ人数
ネコの手	12	57

11. 平成 30 年度施設整備状況

工 事 内 容	工事費用	施行業者
2階居室及び廊下照明LED工事	699,840 円	三ツ星電気商会
2階居室床面張替え工事	132,840 円	神稲建設
合 計	832,680 円	